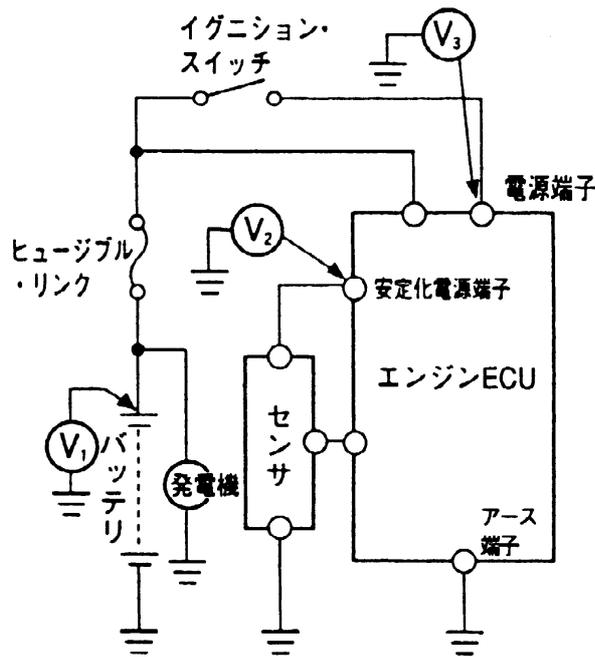


平成14年12月 検定試験

[No.34] 「自動車の異常を示すダイアグノーシス・コードの表示がないが、エンジンが始動しない。」という現象において、図の電源回路の点検を行った場合の判断として、適切なものは次のうちどれか。

図



【電源回路の確認又は点検作業】

イグニション・スイッチを ON にすると、エンジン警告灯が約 2 秒間点灯し、その後、消灯すると同時にフューエル・ポンプの作動音がする。そのとき V2 は 5V である。次に、クランキング時、V1 が 12V から約 10V まで下がるが、スタータ・モータは正常時と同じように駆動できる。そのとき V2 が 5V から約 4V まで下がって変動し、V3 は約 10V であった。

- (1) 安定化電源回路が故障
- (2) バッテリの容量が不足
- (3) スタータ・モータが異常
- (4) 安定化電源回路の動作電力が不足